

自然の中でのアクティビティ

豊かな自然に恵まれた盛岡では、季節ごとに様々なアクティビティを楽しむことができます。春から秋にかけては登山やキャンプなどで、家族や友人とアウトドアレジャーへ出かける人も多いのではないのでしょうか。今回は、盛岡市内で自然と触れ合うアクティビティにぴったりの施設をご紹介します。

もりおかしそとやましりんこうえん 盛岡市外山森林公園

外山森林公園では、キャンプや自然体験が行えるほか、名物の「外山そば」が有名です。また、アスレチックコースや展望台もあり、大自然に触れ合うことができます。キャンプ場には、雨でも楽しめる屋根付きのバーベキューサイトが用意されているほか、バーベキューセットの販売や、テントや道具のレンタルもあるので、手ぶらで出掛けてもキャンプを楽しむことができます。自然体験では、きのこもぎ取り体験やピザ焼き体験など自然の中で楽しむ体験会が多く開催されています。

- 所在地 盛岡市薮川字大の平 31-1
- 開園時間 9:00～17:00（9月からは16:00まで）
- 開園期間 平成30年4月28日（土）～11月15日（木）
※キャンプ期間は6月15日（金）～9月23日（日）
- 休園日 毎週火曜日（祝日のときは翌々日、キャンプ場利用期間中は休園無し）
- アクセス
・バスの場合
JRバス東北 早坂高原線「外山ダム森林公園前」下車
・車の場合
東北自動車道盛岡南ICから40分、盛岡駅から35分
- ホームページ <http://www.city.morioka.iwate.jp/kurashi/kokyoshisetsu/taiken/1000894.html>



もりおかしつみなみつどの森 盛岡市都南つどの森

都南つどの森では、春夏秋冬によって異なる体験ができます。春には桜を始めとする花々を、夏にはアスレチックやキャンプを、秋にはキノコ採りやグラウンドゴルフを、冬には雪遊びを楽しむことができます。キャンプを楽しむのなら、テントやキャビンはもちろん、キッチンやバス・トイレまでしっかりと整備されたバンガローにも宿泊が可



能です。広い敷地内にはテニスコートや都南歴史民俗資料館、森林創作実習館があり、バーベキューやキャンプ以外にも楽しめる施設が充実しています。

- 所在地 盛岡市湯沢 1 地割 88 番地
- 開園時間 8:30～17:00
- 開園期間 通年
※キャンプ期間は4月1日（日）～11月30日（金）
- 休園日 毎週火曜日および年末年始
- アクセス ・車の場合
東北自動車道盛岡南 IC から 10 分、盛岡駅から 30 分
- ホームページ <http://park20.wakwak.com/~tudoi/index.html>



盛岡市動物公園

盛岡市動物公園は、市内でも人気のお出かけスポットです。広い敷地内には約 100 種類、合計 700 頭羽もの動物が暮らしています。土日は虫とりや野遊び、ニホンザルやアフリカゾウへの餌やりなどのイベントも開催されているほか、ヤギや羊を撫でたり、ウサギやモルモットを実際に抱っこできることもどうぶつえんや、土日はポニーの背中に乗れるアニマルライドコーナーもあります。盛岡の姉妹都市のビクトリアがテーマのビクトリアコーナーでは、カナダからやってきた動物たちに会うことができます。

- 所在地 盛岡市新庄字下八木田 60-18
- 開園時間 9:30～16:30（入園は 16:00 まで）
- 開園期間 平成 30 年 3 月 15 日（木）～12 月 2 日（日）
- 休園日 毎週水曜日
- アクセス ・バスの場合
岩手県交通 中央線または岩山定期観光線「動物公園前」下車
・車の場合
東北自動車道盛岡 IC、盛岡南 IC から 40 分、盛岡駅から 20 分
- ホームページ <http://moriokazoo.org/>



楽しいキャンプにするために…

日常から離れ、自然の中で行うキャンプはとても楽しいですね。記事の中でもキャンプ場のある施設を紹介しましたが、楽しくキャンプを行うための注意点を 3 つご紹介します。

暑さに注意！

夏場のキャンプは暑さ対策が肝心です。熱中症にならないためにも、こまめな水分補給はもちろんのこと、日陰を確保することが重要です。テントを日向に置いておくと、熱がこもって室温が上昇してしまいますので、テントは直射日光に当たらないように注意しましょう。

虫に注意！

自然の中では昆虫やダニ、ヘビなどによる被害を受ける可能性があることを常に意識しましょう。草むらで遊ぶときは長袖・長ズボンを着用し、肌が出ている部分には防虫スプレーを使用しましょう。虫に刺された、または体調に異変を感じた場合はすぐに近隣の病院で診察を受けるようにしてください。

火の扱いに注意！

キャンプに必要不可欠な火ですが、その扱い方には注意が必要です。締め切ったテントの中で火を使用すると、火事の恐れはもちろん、一酸化炭素中毒で最悪の場合死に至る場合もあります。また、消火するときは、水をかけて火が完全に消えたことを確認するようにしましょう。